



日本共産党
おざわ しょういち
小澤 彰一

市の命運がかかるワクチン接種

その他の
質問事項

- ▼ トレッキングコース設置
- ▼ 次代へ残す文化財、芸術作品

◆ ワクチン接種について

問 国保榑川診療所の4月からの市直営以降については、医療スタッフの確保やシステムの構築に一定の時間がかかるのは理解できる。中断期間中の地区住民の診療や、高齢者ワクチン接種はどのように対処するのか。

答 4月以降の運営に関しては見通しが立っていない。現在、医師その他のスタッフ確保に努めている。巡回診療の可能性も模索している。地区住民の方の不便が生じない配慮と、維持管理の費用を考え、一日も早い診療再開の努力をしたい。ワクチン接種は個別と集団の両面で模擬実験を行っている。ワクチンの解凍及び搬送に制約があるので検討している。榑川診療所利用については巡回診療が可能か、医師会と調整したい。

(健康づくり課)

◆ 里山整備、雑木利用

問 里山はつい最近まで生活と密接な関係があり、住民は里山に手を入れ続けた。新たな価値を付加するため、柴、雑木、伐採後の枝など、粉碎しチップ化する機械を導入できないか。乾燥が速く燃料にしやすい、遊歩道整備にも役立つと考える。

答 チッパーは高額なので導入は考えていない。来年度から森林適正管理事業に取り組み、過密林の整備、風倒木・枯損木の撤去、防災減災の森林整備を行っていききたい。

(森林課)

◆ 要望

トレッキングコース設置などと合わせ検討いただきたい。



ガソリンエンジンの小型チッパー

現実的な政策実施を!!

その他の
質問事項

- ▼ 本市における現在の課題と第3期中期戦略での取り組みについて
- ▼ 新型コロナウイルスワクチンの接種について

◆ 小口市政のスローガンの達成度と評価について

問 小口市政では、これまで教育再生、農業再生、林業再生など掲げてきた。しかし、それぞれに何を再生するのか分かりにくいと言った意見もあった。具体的に林業再生について、理念は良いとしても何故これまで林業が衰退したのか、社会的背景などを考慮すれば現実的には大変厳しい状況にあると思う。実現するためのビジョンや計画はどのようなになっているのか。

答 本市が理念とする林業再生とは、林業を産業として復興させることのみならず、森の恵みを暮らしの中に復活させることで、市民誰もが森林の価値を享受できる地域の実現を目指すものである。

(森林課)

◆ コロナ禍における市内経済対策について

問 他市では、市民に對

してPayPayなどによるポイント還元増を市が負担して実施している。購買者の他市への流出も見られるが、どうして本市では取り組まないのか。

答 PayPay等を活用した消費喚起策については、市外からの消費も取り込めたり、非接触型の決済などのメリットがある。

一方で、利用者や利用業種が限られることがデメリットとされており、今後研究していきたい。

(産業政策課)

要望 いくつかの事業を実施することで、メリットを増幅し、デメリットをカバーすることになるので複合的な実施を。



森林公社に集積される木材